

広島県 高校入試情報

令和7年度広島県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は昨年同様、地・歴・公・地歴公各1の計4問。

○小問数は23問（昨年は22問）。

○文章記述問題は昨年同様6問。

●出題傾向について

○文章記述問題では基礎知識を問う問題と資料から読み取れる内容を文章でまとめさせる問題があり、後者の難易度はかなり高い。

○文章記述問題は穴埋め形式の出題もあり、前後に合わせて的確に記述する力も必要。

○どの問題もテーマ性をもたせて問題展開されている。

★広島県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

文章記述問題の出題

資料から読み取り考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

新研究で対策！

●巻頭の「社会のキホン～記述問題の答え方～」(p.2～3)と、「文章記述問題はこわくない！」(p.184～187)で記述問題のポイントがつかめます。

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p.194～197)では、複数の資料を用いた問題など、思考力を必要とする問題が練習できます。

分野統合問題の出題

例年統合問題が出題されているので、時事問題に普段から関心を持つこと、また大問のテーマ設定に関連させて全分野から出題される問題形式に慣れておく必要がある。

新研究で対策！

●「これで完成！入試実戦講座」⑪⑫(p.200～203)で、分野統合問題の出題形式として多い、1つのテーマに沿った総合問題に取り組むことができます。

★新研究で出題した広島県の入試問題(令和7年度)

◆p.17 大問1 ◆p.145 大問1

広島県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★広島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿			●
		日本の姿		●	
		世界各地の人々の生活と環境	●		●
		アジア州		●	
		ヨーロッパ州, アフリカ州		●	
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	
		日本の自然, 人口	●	●	
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方		●	
		近畿地方, 中部地方		●	
		関東地方, 東北地方, 北海道地方			
	歴史的分野	文明のおこりと日本	●		
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●	●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国			
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本			●
		現代の日本と世界		●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●		
		個人の尊重と日本国憲法		●	
		現代の民主政治, 国会		●	
		内閣・裁判所, 三権分立		●	
		地方自治			●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉		●	●
		地球社会と私たち	●		
出題形式別の傾向	分野統合	●	●	●	●
	大問数	4	4	4	4
	小問数	24	21	22	23
	記号解答	7	12	13	13
	用語記述	7	3	5	4
	文章記述	10	6	6	6
	作業・作図				